

# 燃え上がれ青高魂

校長 大塚 忠巳

昭和39年4月8日、別府青山高校第1回入学式が別府市中央公民館で挙行されました。1期生385名が入学し、別府青山高校の歴史がはじまりました。

昭和52年4月に男女共学となり、来年創立50周年を迎えます。この間、「明るく、強く、心温かく」の校訓のもと、13000人を越す卒業生を送り出すとともに、心の豊かさをベースとする別府青山高校の伝統を築いてきました。

「文化」とは、「人間が社会の構成員としてつくり出していく、物質的・精神的成果のすべて」と説明されます。文化祭は、別府青山高校に籍を置き、ここで学んだ多くの人々が営々として作り上げ、受け継いできた成果を形として示す場ともいえます。

別府市内の生徒減少に伴い、2年後には、別府羽室台高校、別府商業との3校統合が予定されており、青高生のみでの文化祭（青嵐祭）もあと2回となりました。今年と来年の文化祭は、別府青山高校の歴史と伝統の集大成ともいえます。一昨年、昨年と内容の充実を遂げてきた青嵐祭。今年は更なる進化を期待します。

別府青山高校の遺伝子を受け継ぐ生徒諸君。諸君が、別府青山高校の歴史と伝統に思いを馳せ、文化祭の成功に向けて、心を一つにして全力で取り組む時、青高魂は、あたかも光り輝く炎が高く立ち昇るかのように光を放つはずです。

「光炎万丈」～燃え上がれ青高魂！～